

平成18年度第2回総合評価諮問会議リサーチ・アドバイザー部会の評価結果等

1 外部評価結果

労働政策研究・研修機構が公表する調査研究成果物については、リサーチ・アドバイザー部会において評価を決定することとしている。

平成18年10月20日に開催された平成18年度第2回リサーチ・アドバイザー部会においては、平成18年7月から同年10月までに公表された8点の調査研究成果物について、各2名の外部評価者が事前に作成した評価票に基づき議論が行われ、以下のとおり評価が決定した。

S（最優秀）	A（優秀）	B（普通）	C（要努力）	D（不足）	計
0	6	2	0	0	8

2 調査研究への反映

各評価対象研究成果物につき2名の外部評価者から出された評価意見に対して、研究担当者は文書でリプライを作成・回答するとともに、今後の調査研究活動に反映することとしている。特に、今後も実施予定の調査研究テーマについては、リサーチ・アドバイザー部会での意見等も踏まえ、18年度末の調査研究成果の取りまとめに生かすこととしている。

（参考） リサーチ・アドバイザー部会委員（50音順）

猪木 武徳 （国際日本文化研究センター教授）
大橋 勇雄 （一橋大学教授）
岡本 英雄 （上智大学教授）
尾高 煌之助 （法政大学名誉教授）
苅谷 剛彦 （東京大学教授）
木村 周 （東京成徳大学客員教授）
毛塚 勝利 （中央大学教授）
神代 和欣 （横浜国立大学名誉教授）
袖井 孝子 （お茶の水女子大学客員教授）
藤田 英典 （国際基督教大学教授）
古郡 鞆子 （中央大学教授）
南 隆男 （慶應義塾大学教授）
山川 隆一 （慶應義塾大学教授）
山口 浩一郎 （上智大学名誉教授）

（敬称略）